



丹生川小、中PTAとバロー子会社
資源回収で連携開始
リサイクルボックス導入

バロー子会社とPTAが連携して設けたリサイクルボックス
〓高山市丹生川町町方 丹生川中学校

丹生川小学校、中学校(高山市丹生川町)のPTAとバローグループの「ジャパニクリーンサービス(JCS)」(御嵩町)は15日、常設型リサイクルボックスによる資源回収を始めた。丹生川中学校の駐車場の一角にボックスを置き、段ボールや古新聞を持ち込めるようにする。PTAは会員や地域に協力を呼びかけ、企業側は回収して代金をPTAに還元する。こうした試みは飛騨地域で初めて。

ボックスの導入は昨年3月、市とバローホールディングス(HD)が包括連携協定を結んだのがきっかけ。締結に関わった牛丸大輔市長は「従来は集ま

って回収していたが、保護者の負担が重く、トラック

も調達しづらかった。これで持続可能な資源回収ができる」と話し、JCSの寺村範夫社長は「回収した物資がどんな工程を経てリサイクルされるのか、講師派遣など環境学習にも協力したい」と話している。
(箕浦由美子)